

発言議員	議案案件名	要旨	答弁者
	② 児童手当について ・ 拡大される当市での対象人数（年齢と所得別） ・ 全体にしめる対象者の割合はどれくらいに増えるか。 ③ 岩瀬土地区画整理事業の促進について ・ 方針を縮小し、早期終了をはかる方法について ・ 羽生病院の新築について ④ 地域支援事業について（それぞれの事業内容を伺いたい） ・ 地域密着型介護サービスについて ・ 家族介護教室について ・ 成年後見制度利用支援について ・ 閉じこもり予防事業について	② 市民福祉部長 都市整備部長 市民福祉部長	
3番 永沼正人議員	1. 議案第1号 平成18年度羽生市一般会計予算について 第2款総務費第1項総務管理費第18目諸費中13委託料市内循環バス運行委託料について 1) 平成18年3月1日付け朝日新聞の報道によれば「年間約2,749万円の経費の約半分を廃止により歳入に組み入れることができるという」とあったが、 ① 代替策はどうなっているのか（騎西と同様の運行システムの導入など） ② 運賃制度の導入など受益者負担の原則にたった制度の延命策は検討されたのかどうか ③ 浮いた予算を何に使うのか（市内小学校低学年児童下校時における安全確保のためのミニスクールバス運行（運行ボランティアの組織化や経費の負担等）にこの予算を振り向けることができないか）	市民福祉部長	
14番 落合信夫議員	1. 議案第1号 平成18年度羽生市一般会計予算について ① 「三位一体改革」は総括的に地方自治体にとってどうだったのか。そして今後は。 ② 定率減税の廃止による負担増はどのようか。又、各種控除の廃止や縮減を合わせ負担増はどのようか。 ③ 市債の発行は注意を要するが「学校や保育所等の施設整備」は、計画的整備が求められる。新たに「施設整備事業債」の活用ができることになったので、積極的に進めるべきと考えるが。 ④ 「集中改革プラン」の作成状況はどうか。さらなる「行革」の押しつけはやめるべきと考えるが。 ⑤ 「羽生の里」貸付金6,500万円はどのように活用されるのか。	① 企画財政部長 ② 総務部長 企画財政部長 ” ”	
1番 小野幸夫議員	1. 議案第1号 平成18年度羽生市一般会計予算について 参考資料1：予算の概要のうち ① 羽生市教育研修センターについて ② 獅子舞フェスティバルについて ③ 女性政策の推進について	① 教育次長 ” ② 企画財政部長	
13番 蜂須直巳議員	1. 議案第1号 平成18年度羽生市一般会計予算について ① 総合振興計画「新羽生21世紀計画」の改定について 少子・高齢化への対応、時代に即応した構想とあるが、目標人口や土地利用計画等も含めた見直しなのか。単なるローリングプランなのか。最終年度もそう遠くない所まで迫っているが、今迄の反省もふまえた見直しを考えているのか。現時点での考え方を。 ② 「協働のまちづくり」について 福祉や教育の分野での取り組みへの拡大とあるが、この分野は極めて専門性が高く、今日取り組んでいる街づくり（側溝のフタ掛け等）とは、条件が違うのでは。どの様なイメージを描いているのか。 ③ 羽生の里への経営改善資金の貸付について 6,500万円 健全経営に向けた支援策との事だが、現実的に「羽生の里」の経営は改善の方向に進んでいるのか。昨年1,000万円の増資、本年は6,500万円の貸付だが、黒字化の展望は持てるのか。貸付金の不良債権化が心配だが、その際の対応ははどうか。 ④ 入学準備金貸付金の減額について 貸付条件に問題点がある為、借り方が少ない実態にある事は、これまでの議論経過で明らかと思う。貸付条件の改善が必要な時に減額（120万）に何の意味があるのか。制度発足以来、これ以上の額が、不用額となっていた事は事実だが、補助金ではなく、貸付金であり、財政健全化の為の事業見直しとは違うレベルの問題である。	① 企画財政部長 ” ② 経済環境部長 ③ 教育次長	